

流山の景気動向

流山商工会議所では、役員・議員・青年部員の事業所にご協力いただき、地域の景気動向を3か月ごとに調査しております。この度、令和4年9月の調査結果がまとまりましたので、ご案内申し上げます。

<調査概要>

○調査対象月

令和4年8月

○調査期間

令和4年8月30日から9月9日

○調査対象

流山商工会議所会員事業所

○回答数

建設10、製造11、卸・小売11、サービス18

合計50事業所

○調査項目

全国 LOBO に準拠した項目および向こう3ヶ月の見通し
(DI 値を集計)

○付帯調査

「新型コロナウイルスによる経営への影響」

「カーボンニュートラル実現に向けた取組み」

「電力料金の高騰」

❖ 流山の景気動向【概要】

- 経済活動の維持により売上は回復基調にあり、新型コロナウイルスによる影響も前回（5月）調査比+14ポイントと減少傾向にある。しかしウクライナ情勢、円安による原材料や燃料等の高騰の影響は大きく、収益を圧迫している。
- カーボンニュートラルの対応については、コスト上昇および安定供給への影響を懸念する声が多く、エネルギーコストが高まっている昨今、省エネ・省CO2に取り組む前向きな姿勢もうかがえた。
- 電力料金の上昇は「今後高い状態が続けば」を含めるとほぼ悪影響を受ける状態であり、様々な経費節減対応をする中で「販売価格に転嫁」できていると回答したのは、27.7%である。

❖ 流山の全産業天気図

天気図		業況		売上		採算		仕入単価		従業員		資金繰り	
		今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き	今期	先行き
全産業	流山												
		▲ 12.0	▲ 16.0	16.0	▲ 8.0	▲ 18.4	▲ 24.0	▲ 66.0	▲ 62.0	36.0	36.0	▲ 4.1	▲ 4.1
	全国												
		▲ 21.0	▲ 26.6	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 25.2	▲ 29.4	▲ 72.3	▲ 68.9	17.7	18.5	▲ 17.1	▲ 19.6

凡例



特に好調
(D I ≥ 30)



好調
(30 > D I ≥ 15)



まあまあ
(15 > D I ≥ 0)



やや低調
(0 > D I ≥ ▲15)



低調
(▲15 > D I ≥ ▲30)



極めて低調
(D I < ▲30)

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

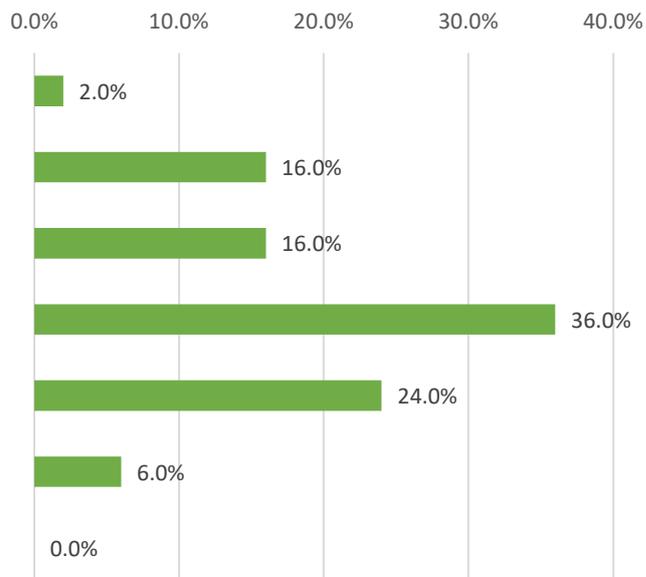
したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

$$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

◆付帯調査

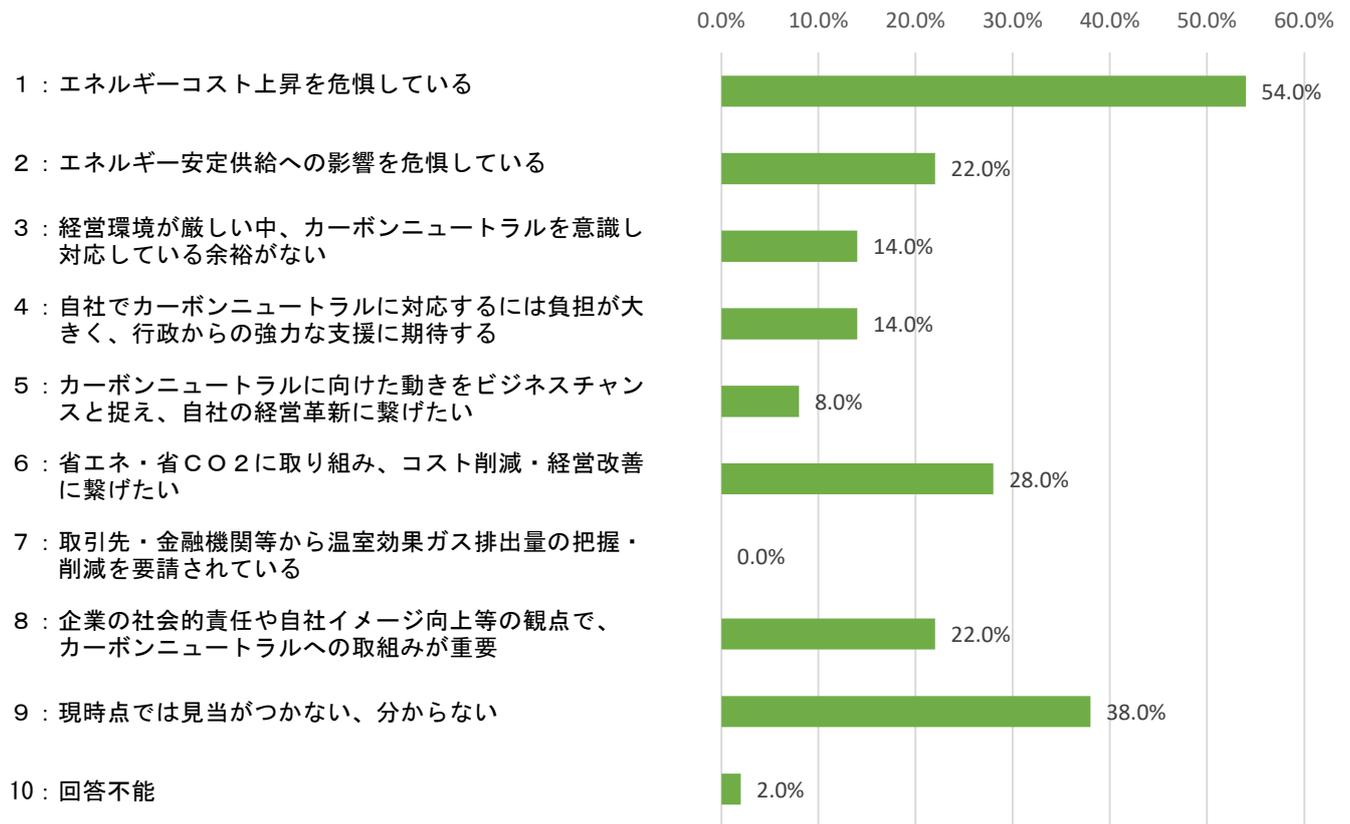
1. 新型コロナウイルスによる経営への影響

- 1 : 深刻なマイナスの影響が続いている
(感染拡大前と比べ、売上が50%超減少)
- 2 : 大きなマイナスの影響が続いている
(感染拡大前と比べ、売上が30%程度減少)
- 3 : ある程度のマイナスの影響が続いている
(感染拡大前と比べ、売上が10%程度減少)
- 4 : 現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある
- 5 : 影響はない
- 6 : 分からない
- 7 : 回答不能

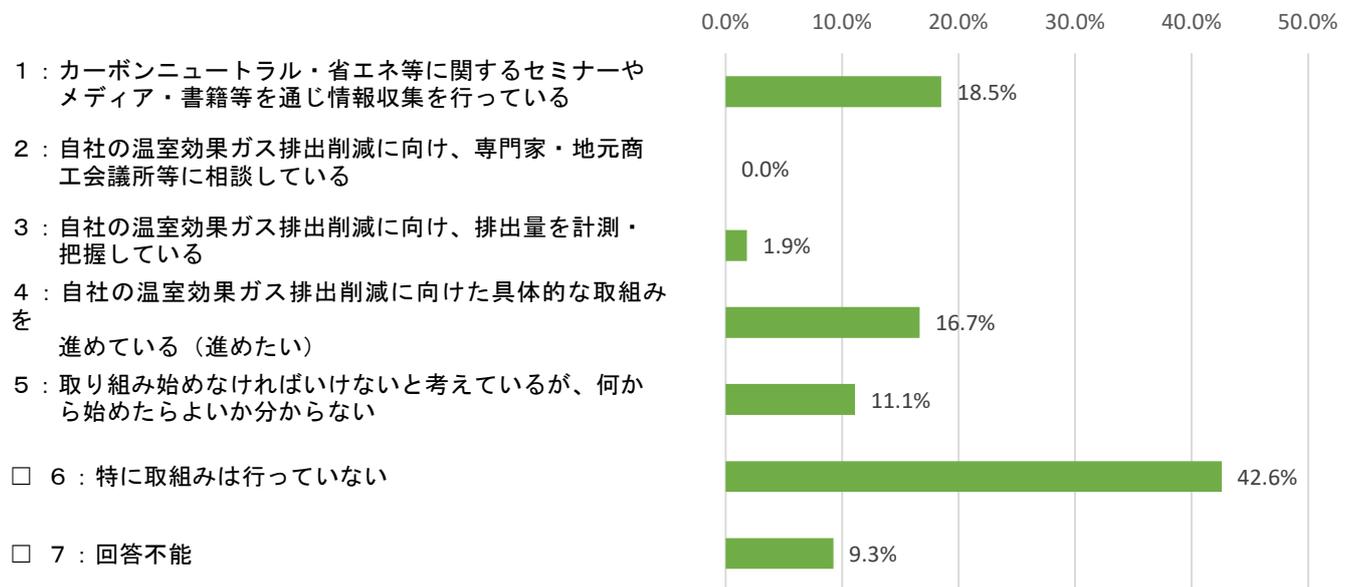


2. 「2050年カーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）実現」に向けた取組み

2-1 2050年カーボンニュートラルに対する対応・考え（複数回答）

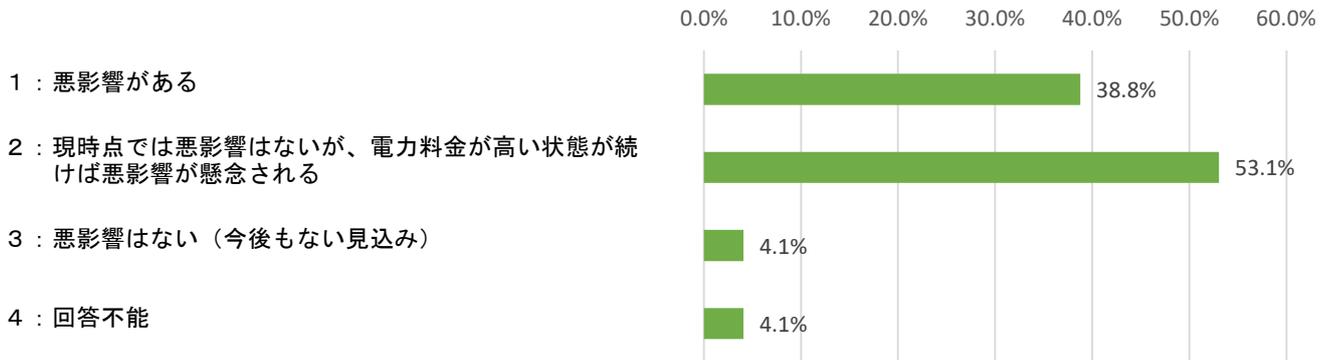


2-2 CO2等の温室効果ガス排出削減に向けた取組み（複数回答）



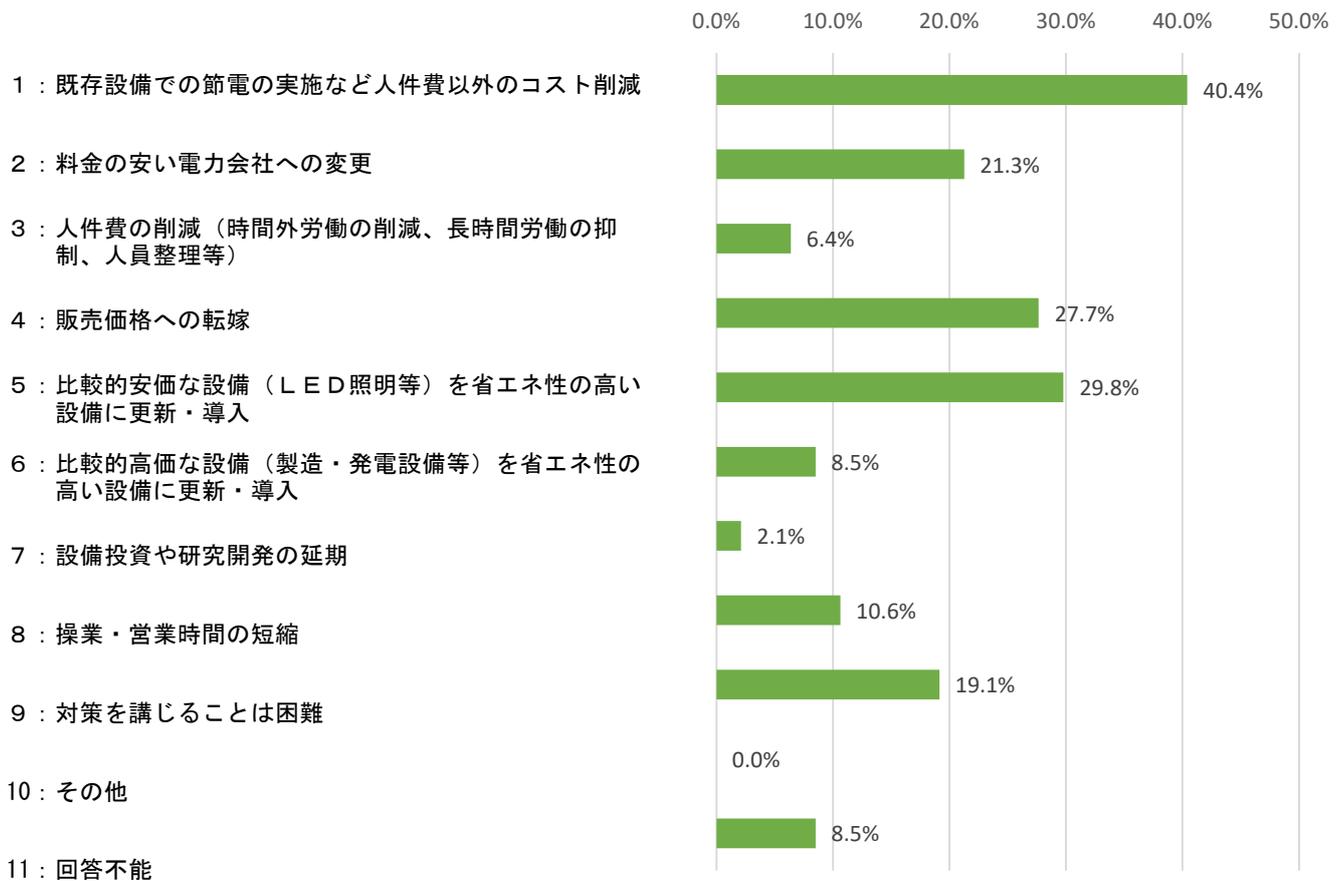
3. 電力料金の高騰

3-1. 電力料金の上昇による経営への影響



※質問3-1で1または2に回答した方

3-2. 今後も高い水準の電力料金が続いた場合の対応（複数回答）



【コメント欄より一部抜粋】

- ・カーボンニュートラルによる電力消費の増加、再エネ活用による自然破壊、人権問題等を考えると、まずは「MOTTAINAI」の実践のほうがよいのではないかと。
- ・円安の急激な進展により原材料の輸入価格が急騰している。
- ・最低賃金の上げは直接のコスト上昇要因となっている。
- ・レストラン関係の売上げは減少したが、食品工場の売上げは増加した。
- ・公共工事の積算単価に対し官公庁の積算単価見直しが間に合わず、採算が合わない状況が続いている。
- ・製造・販売を含めてDX化を図り、全体的な体制変更をしていく時期だと思う。
- ・仕入れが高騰する中、価格競争が激化しており、仕事量が減っている企業が多くなっているように思う。
- ・これ以上、円安や海外物流の遅延が続くようであれば影響が出てしまう可能性がある為注視している。